

## 資料 2

# 平成 2 5 年度の取組について

釧路市



## 「もっと知る,くしろの木」の取組

- 地域材の品質を明確に示しユーザーの信頼構築
- 流通コストの明確化とコストの低減

平成 24年度

市有林森林経営計画の策定

### <品質の把握>

品川シェルター強度試験  
木造住宅気密測定試験

平成 25年度

【継続】品川シェルター強度試験  
カラマツ材によるマニュアル作成

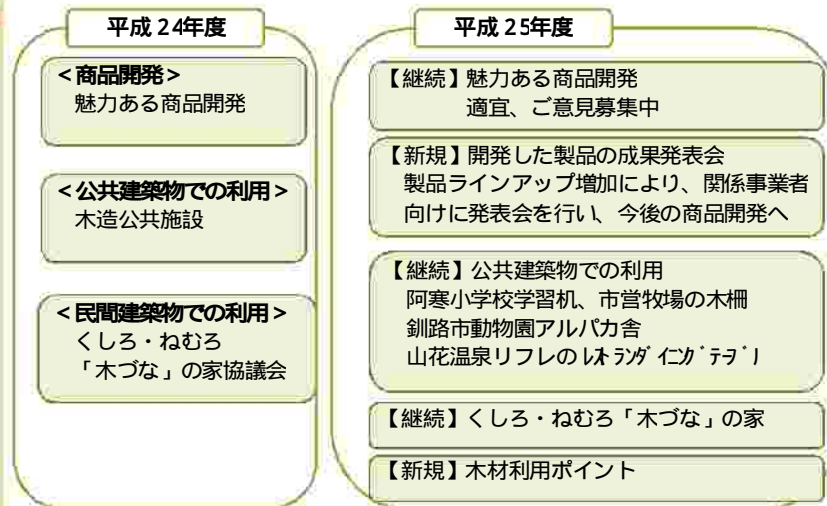
【新規】木材の造材コスト把握  
大型機械の導入などが進み、  
低コスト化が進むなか、現状の  
コストを把握（見える化）

【新規】市有林への路網開設効果の把握

【新規】ハイブリッドログハウスの開発

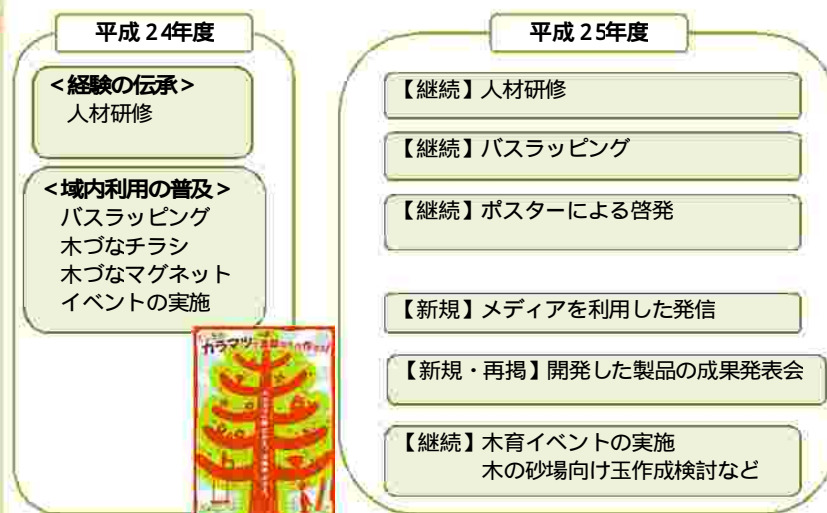
## 「もっと使う,くしろの木」の取組

課題 ・画一的な木材利用  
 ・顧客ニーズにあった商品提供  
 地域内での幅広い使い道の検討



## 「もっと伝える,くしろの木と技」の取組

課題 ・プロモーション不足  
 ・木材を利用する地域の共通認識不足  
 人材育成、利用するエンドユーザー（応援団）増加



## 木材利用ポイントについて

- (1) 木材利用ポイントの付与対象
- ・地域材を基準以上利用する等の条件を満たし、次の1～3をみたすもの
  - 1 木造住宅の新築・増築又は公有
  - 2 住宅の床、内壁及び外壁の木質化
  - 3 木材製品、木質ペレットストーブ
- (2) 発行される木材利用ポイント
- 1 木造住宅 1棟あたり30万ポイント
  - 2 住宅の床、内壁及び外壁  
木材利用量に応じて上限30万ポイント
- 1ポイント1円相当で、地域の農林水産物などと交換
- (3) 登録  
工事施工事業者、交換商品提供事業者は登録必要！

## メディアを利用した発信について

3月26日にメディアを活用したPRについて、  
メンバーにアンケートを実施

- ・地域材利活用に関するPR

### アンケート結果

1. 賛成 8人 反対 3人
2. 負担割合 市100% 3人  
市50% 円卓会議メンバー50% 5人

### 意見

- ・ラジオで伝えるものリスナーから何を知りたいか、伝えるか整理しなければ効果が薄いので反対
- ・商品開発が出来上がった時点での広報活用は必要であるが、現時点での効果は疑問
- ・費用が高いのでは ・効果があるので進めるべき

## 木づなプロジェクトのPR方向について

木づなプロジェクトの目的：（PRは目的を実現するための手段）  
木を伐る人～木材を利用し製品を作る人など木材の関係者が共同で、  
地域の森林を守り、地域に良質な木製品を提供する。



必要な  
取組